

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学

受付番号	2024-2-075
倫理審査（初回審査）	2024年12月9日
研究課題名	救急外来に受診した絞扼性小腸閉塞患者における血液検査の有効性の検討
研究の対象	2020年1月～2024年12月に当院救急外来で腸閉塞と診断された成人患者
研究の目的・方法	<p>絞扼性小腸閉塞は、治療せずに経過をみると腸管壊死・腸管穿孔をきたし、敗血症や多臓器不全から、死に至ることもある。そのため、絞扼性かどうかを早期に判断し、緊急手術をすることが必要である。絞扼性かどうかを判断する手段はCT検査ではあるが、絞扼性小腸閉塞の診断された患者の様々なパラメーター（好中球/リンパ球比、血小板/リンパ球比、CRP/アルブミン比など）を調べることで、CT画像の読影が十分でない初学者やCT検査ができない医師の判断の一助になること目的である。</p> <p>・研究実施期間：2024年12月11日～2026年12月31日</p>
調査データ該当期間	西暦 2020年1月1日 ～ 西暦2024年9月30日
研究に用いる試料・情報の種類	<p>1) 研究対象背景 性別、年齢、Charlson comorbidity index</p> <p>2) 身体所見 バイタルサイン：意識（GCS）・血圧・脈拍・呼吸数・体温 主訴：腹痛、嘔気・嘔吐 qSOFA・SIRS</p> <p>3) 臨床検査 血液検査：白血球；好中球数・リンパ球数、血小板、Dダイマー 生化学検査：LDH、アルブミン、CRP</p> <p>4) 診断・治療法 腸切除術施行の有無</p> <p>5) 予後 入院期間、転帰（死亡の有無）</p>

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>研究責任者：板垣 秀弥 東北医科薬科大学病院 救急科・助教 TEL：022-259-1221 E-mail：Itagaki.hideya@tohoku-mpu.ac.jp</p>
---------	---

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<個人情報保護法第 21 条>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy_policy.html

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<個人情報保護法第 33 条>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

